

— 移住4年目 — 私たちの「宝物」(裏表紙に関連記事)



充実の  
調査研究レポート  
**活性化する  
3 常任委員会**  
課題解決に向け前進!

待ったなし!  
着々と進む?  
公共施設等の総合管理計画  
**令和7年度  
リリック  
ホール棟**  
解体へ!

# おがき ぎかい

No.112  
2024  
6月定例会  
会期  
6/4~6/14  
埼玉県小川町議会

## わたしのひとこと



自然環境や伝統文化を大切に守っている小川町が誇りです。  
千野和美さん

町民の声  
「聴きます×つながります」

議会の活性化も進みつつあるようです。期待して見守りたい!  
野村勇一さん



活性化に向けて  
「進み続ける議会」  
プレ地区懇談会の  
開催へ踏み出す

**16**人の一歩!!

表紙に使用している画像は小川和紙の「落水紙」です。春雨が落ちたような小さな穴のあいた薄い和紙で、光を通す障子紙やランプシェードなどに使用されます。和紙に合わせてあしらった2色は空色と唐紅色。真夏のプールとスイカをイメージした色を表現しました。



# 課題解決に向け前進！持続可能なまちづくりの歩み！！

今任期初めてとなった常任委員会による調査研究の取組。委員会ごとに町の事務事業等から課題をヒアリング・フィールドワークも。改選後、フレッシュなメンバーを中心に組織された各常任委員会では、

見出し、テーマを設定する。課題解決に向けたアプローチは様々で、先進地視察や担当課等への新たな視点や手法で調査研究に励み、委員長のもとで充実の「報告書」がまとめられた。

## ●総務常任委員会

テーマ 公民共創による持続可能な公共施設の利活用

## ●厚生文教常任委員会

テーマ ライフステージに応じた「スポーツ機会の創造」と「健康づくりに資する環境整備」

### ★先進地視察★

長野県飯綱町「いづなコネクト WEST」

総務・厚文共通

**施設概要** 「自然・スポーツ・健康」をテーマに学校再編で廃された旧小学校を再整備。人工芝のグラウンドやジム、体育館、食堂、宿泊機能などを有する。運営は、地元を拠点とするまちづくり会社「カンマツせいづな」が担う。

- ポイント1 地元検討組織の「将来プラン」に基づく整備と運営で住民利用が増加。
- ポイント2 関係人口の創出に「飯綱町合宿等誘致事業補助金」を設けて施設利用を後押し。
- ポイント3 人工芝のグラウンド整備でサッカーJ3リーグ所属AC長野パルセイロの事業誘致に成功。



複合施設に生まれ変わった旧牟礼西小学校

## ●経済建設常任委員会

テーマ 地域に根差した特色ある魅力的な商店街の取組と小川町駅周辺の活性化

### ★先進地視察★

いわむら だ ほんまち  
長野県佐久市「岩村田本町商店街振興組合」

**概要** かつて中山道22番目の宿場町として栄えた商業の町。長野冬季オリンピック（平成10年）を機に大型店舗が進出し「売上80%ダウン」の憂き目にあう。当時、平均年齢38歳の日本一若い商店会役員で構成する同組合が誕生。「日本一」を冠した様々なイベントを企画・運営してきた。

- ポイント1 「右手にそろばん、左手はコミュニティの担い手」をコンセプトに商店街の存続を図る。
- ポイント2 空き店舗を活用し「本町おかず市場」などを展開。
- ポイント3 全国初となる商店街直営学習塾「岩村田寺子屋塾」等の運営。



**調査研究のまとめ** 「ローカルファースト」の考え方を共有し、商店街が活性化する目的やコンセプトを明確に示すことで、地域に根差した（必要とされる）持続可能な商圈が生まれる。そのためにも、まずは住民が地元商店街に「何」を求めているかをしっかりと把握することが重要と捉えている。当委員会としても引き続き、商工会や各商店会等と意見交換・情報共有を図り、連携強化に努めていく。

地域を優先的に考え、文化や歴史などの資源を大切に、持続可能な地域社会を形成していくこと

### 総務 調査研究のまとめ

今後も進む町立学校の再編に伴った「学校跡地の利活用」は、喫緊の課題である。また、廃校が予定される八和田小・東中は、いずれも市街化調整区域にあるため、民間活力の進出に不安が残る。当委員会としても、住民ニーズの把握に努め、アセットマネジメントの観点や関係法令を精査し、持続可能で特色ある施設となるように、今後も注視していく。

### 厚文 調査研究のまとめ

改めて実感した「スポーツに親しむ意義と健康の尊さ」を多くの住民にPRするため、今後も関連事業やイベント等へ積極的に参加していきたい。また、長年の懸案である総合運動場敷地内に有する野球場予定地の取扱いや、総合体育館の有無など、スポーツ環境におけるハード面の整備・課題についても、引き続き研究に努めていく。

高橋 若い2人に負けないように、私ももっと頑張らなくちゃ！2年目も「女性の視点・観点」を大切に、実り多い取組を目指していくわ。

稲村 私も「移住者パワー」で頑張ります！特に多くの皆さんが期待している「道の駅リニューアル事業」を所管する委員会として、頑張りたいです。

高瀬 2人とも、やる気満々ですね。私は…「消滅可能性自治体」の根拠とされた「若年女性」にフォーカスし、様々な角度から調査研究に励みたいですね。

### 対談

## 3常任委員長が振り返る ～今任期1年目の取組～



厚生文教：高瀬

総務：高橋

経済建設：稲村

高橋 コロナ禍では行きづらかった「先進地視察」なども増えてきて、充実した委員会活動ができたと思います。

稲村 議員経験も少ない中で「委員長」の大役を受けました（汗）。2人の先輩委員長をお手本に、必死に駆け抜けた1年です（汗汗）。

高瀬 久しぶりの「厚文」で感じたことは、やっぱり「守備範囲」が広くて大変だということ。福祉サービス全般から生涯学習・学校教育まで…改めて、日々勉強です！

高橋 引き続き2年目も、町の様々な課題の解決に向けて協力していきましょうね！

稲村・高瀬 御意！！×2

決意を新たに「エンジン全開」の3常任委員長！





今次定例会（6月4～14日）は、事業の不採択により、国からの補助金が大幅減となつてしまった「一般会計補正予算」や、道の駅リニューアルに係る「駐車場拡張工事の請負契約」など、全9議案を慎重審議。主なやり取りをピックアップします。

一般会計補正予算

太陽光発電等の導入支援に黄色信号  
「地域脱炭素移行・再エネ推進事業」は

事業の不採択により、当初予定していた国の補助金2730万円が減額された。町が進める「ゼロカーボンシティ実現」への取組に影響等は。

補助金を財源に、令和10年度までの5年間で、一般家庭向け及び事業者を対象とした「太陽光発電設備」と「蓄電池」の設置をはじめ、公共施設のZEB化や公用車へのEV車両の導入等を予定していました。地域脱炭素を進めていくことへの影響は、少なからずあると捉えています。あくまでも本事業は、ゼロカーボンシティ実現を加速させるための取組であり、不採択によりそれらが後退するといったものではありません。

不採択に至った要因等は。また、今後の取組に向けた考えは。

一因として、一般家庭・民間事業者への設置支援に係る費用と比べて、公共施設への投資割合が多かったことが考えられます。併せて、太陽光発電等の再生可能エネルギーよりも、省エネルギーに要する費用の割合が多かったことも不採択となった要因と捉えています。今後、同様の交付金の獲得に当たっては、公共よりも「民間」省エネよりも「再エネ」を重視し、事業の組立を考えていきます。また、採択された他自治体の事業内容を研究し、改めての交付申請を検討します。

定額減税に係る事務負担

1人当たり所得税3万円と住民税1万円とで計4万円の減税が基本だが、減税しきれなかった分の補足給付など、複雑な制度となっている。対応する職員等の負担をどのように捉えているか。

複雑なところとして、まず、令和6年分の所得税が確定していない中で、前年の税情報をもとに所得税を見込むということです。また、国が提供する算定ツールを用いてシステムを構築し、補足給付に係る対象者の推計を行います。8月を目処に確認書を通知し、順次、申請受付を開始する予定です。実際の給付は、10月からスタートできればと考えています。住民対応も含めて、ある程度の税の知識がないと難しいと捉えているので、税務課・政策推進課が一体となり進めていきます。

スクールバス運行支援員の増

運行に係る事業費の増額が示されたが、背景等は。

バスの運行は、朝2便・夕方2便で変更はありません。一方、運行支援員の体制として、これまで朝・夕ともに1人ずつで対応していましたが、特に下校時において、低学年と高学年とで時間差があり、拘束時間が長くなっていました。支援員からの要望も踏まえて、夕方の2便をそれぞれ1人ずつの2人体制に変更するものです。

スクールバス通学で子供たちを見守っていただける方々に感謝します！

ありがとう

左 志賀祥子さん  
中 龍輝さん  
右 華蓮さん  
（東小川2丁目）



請負契約の締結

道の駅リニューアルに係る周辺整備  
来場者「増」へ駐車場92台分の拡張は

拡張工事が完了すると、道の駅全体で駐車場はどの程度になるか。  
今回の拡張工事92台分とは別

に、建物の正面にも新たに駐車場を整備する予定です。従来からある86台分を合わせると、全



道の駅おがわまち再整備基本計画

たくさんの来客に期待が膨らむ一方で、近隣住民の生活への影響も心配される。猛暑対策は万全に…安全かつスムーズな工事の進捗に期待します。

駐車場の拡張に伴う騒音対策など、近隣住民への配慮は。

先に実施した近隣住民への説明会などでも同様の心配の声がありました。騒音対策として、民家に隣接する部分については、幅5メートルの植栽工事を予定しています。また、特に夜間の駐車について、民家から離れた部分を使用してもらえようという運用上の工夫を図っていきます。

結果的に、本体建屋の工事を請け負う同一事業者との契約になるが、そのメリット等は。

それぞれの工事の調整はもとより、所管する担当としても事務量の軽減等につながることで、より安全でスムーズな事業（工事）の進捗管理が図れるものと捉えています。



他7議案は  
全員賛成で原案どおり  
「可決」しました

議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対  
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

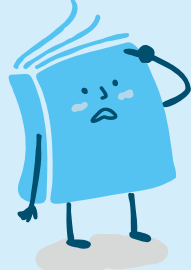
公開します

議決結果はHPでも見られます→

審議した主な議案

議案名	田中	関根	岡部	田端	稲村	鈴木	五十	笠原	大戸	田中	笠原	高瀬	高橋	山口	島崎	高橋	審議結果
令和6年度小川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
地域活性化交流拠点駐車場拡張工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決





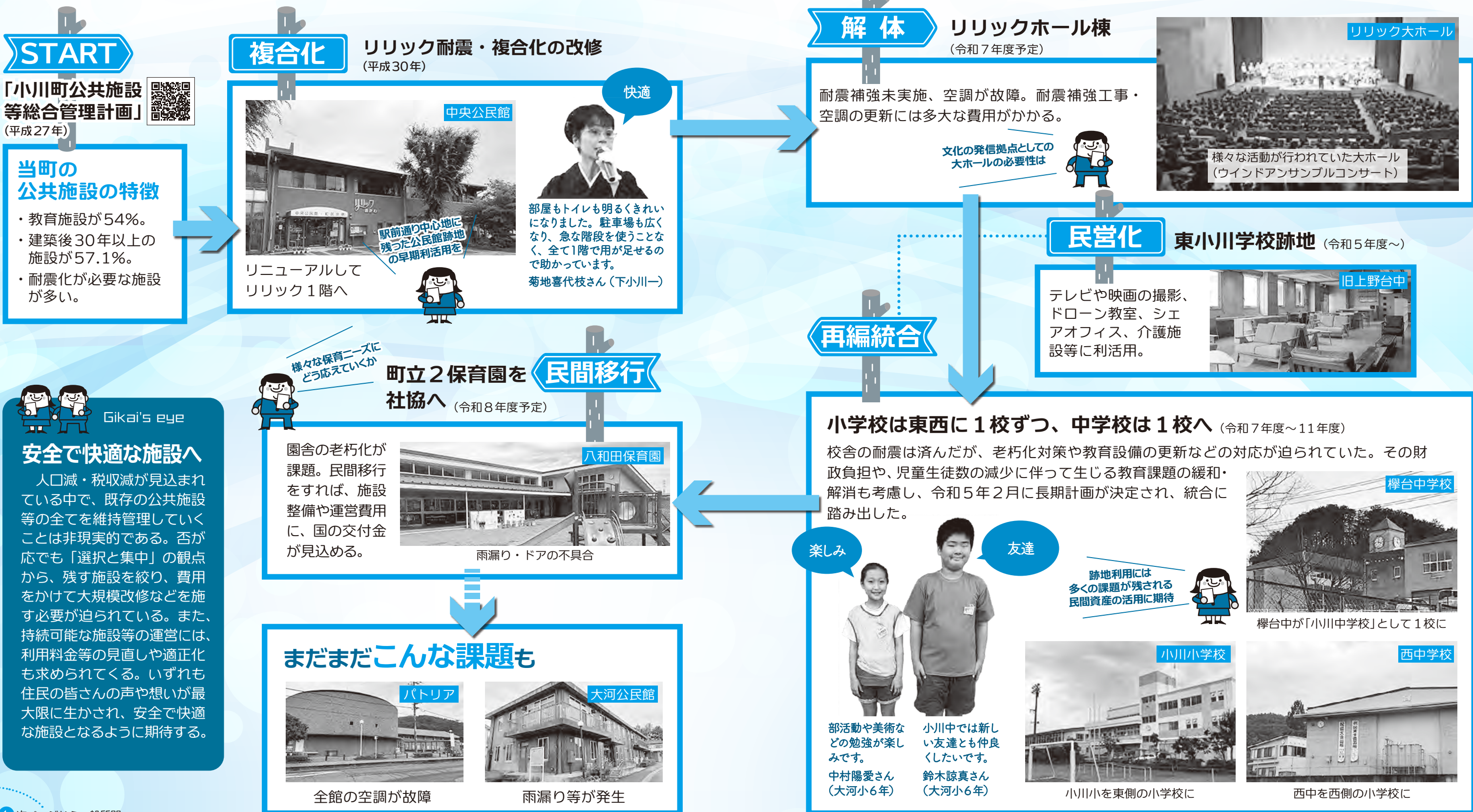
～全国各地で進行する公共施設等の老朽化～

# 待ったなし！着々と進む？

# 公共施設等の総合管理計画

当町に90あまりある公共施設の維持管理には、多額の費用が見込まれている。計画に示された公共には、民間資産の活用や近隣自治体との広域連携・共同運用など、様々な手法が求められる。平成

施設等のスリム化はどの程度進んできたのか。一方で、各施設等が有する機能やサービスの維持向上27年3月（令和4年改訂）の策定から節目の10年となる取組を振り返り、その進捗を見ていく。







小川町議会だよりは

情報にコダワル！

用語解説ははじめ関連情報への二次元バーコードなど「読者目録」の編集を心がけます。

つづく！

**Q** 職員のメンタルヘルス対策の現状と組織的な対応は。  
**A** 総務課長 職員がメンタルヘルス不調に至る要因は様々であり人事担当のみならず、産業医、安全衛生委員会等が連携した全庁的な体制を確保すること、また、メンタルヘルス不調の各段階に応じて対応することが重要であると考えます。



火災拡大を防ぐ屋内消火栓の適正管理を

**Q** 児童・生徒の安全確保  
**A** 消防設備の不備等への対応は。学校教育課長 当町の小中学校は、老朽化した校舎も多く、消防設備も経年劣化しています。過去には改善までに数年要したこともありましたが、校舎の修繕と併せ消防設備も児童生徒の安全のため、しっかりと対応します。

**Q** 開催に当たつての課題は。  
**A** にぎわい創出課長 七夕まつり一般寄附金を減らすことなく花火寄付金を確保すること、交通渋滞、打ち上げ場所周辺の音や振動、警備費用の増加等です。なお、七夕まつり実行委員会での協議の結果、本年は花火を打ち上げることとなりました。



費用は全額寄付金で成り立っています

**Q** 道の駅のリニューアルは、町の魅力を伝える絶好のチャンス。町内飲食店等の機運は、本当に高まっていると言えるのか。  
**A** にぎわい創出課長 道の駅の事業者向け説明会にて、道の駅を起点とした町全体の活性化を図っていく方針を伝えました。道の駅再整備が、事業の拡大・発展のチャンスであることを理解してもらえたものと捉えています。

**Q** 経済評論家などの顔写真を掲載した投資詐欺広告が散見している。町民の被害状況は。  
**A** 防災地域支援課長 なりすまし詐欺広告と思われる被害相談があり、被害額は百万円単位です。



おかべひさし  
岡部久志 議員  
が町に問う！

**役場の環境**  
**職員が快適に働ける環境を**  
**答弁** 快適に働ける環境づくりに努めます



かさほりのりひろ  
笠原規弘 議員  
が町に問う！

**街の活性化**  
**町内業者の機運の高まりは**  
**答弁** 町全体の活性化への方針を伝えました

暑い日が予想される日は、早朝や夕方に用事を済ませ、日中は屋内で過ごします。  
(S・Mさん 71歳)



出かける前に日焼け止めを塗って、日傘を持ち歩いています。あとアイスを食べること!!  
(K・Hさん 18歳)



# 11の視点 一般質問

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文（会議録）は令和6年8月下旬に公開予定です。



「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言を交えて町に考えを質す。新しい副町長を迎えて臨んだ初めての定例会。鋭い質問の数々に、的確な答弁も。各議員のカラーが映える一般質問を取り上げます。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



P.13	P.13	P.12	P.12	P.11	P.11	P.10	P.10	P.9	P.9	P.8
学校再編	台風19号	消滅自治体	東小川学校跡地	带状疱疹	公共施設	道の駅	DX推進	役場の環境	街の活性化	熱中症対策

**Q** 環境省は「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始した。他の自治体では、公共施設にクーリングシェルターの設置を進めているが、当町の考えは。  
**A** 健康福祉課長 極端な高温がもたらす熱中症のリスクから、町民の命と健康を守ることの重要性を総合的に判断し、クーリングシェルターの設置に向け、具体的な検討を進めています。



ココットの1室もクーリングシェルターに



たかはし  
高橋さゆり 議員  
が町に問う！

**熱中症対策**  
**クーリングシェルターの設置を**  
**答弁** 具体的な検討を進めています

町民の命と健康を守るための周知が求められます。身を守ってもらうための適切な呼びかけを工夫するとともに、クーリングシェルターの開放に関する情報提供と併せ、迅速かつ適切な周知に努めていきます。

●その他の質問

将来を見据えた公民館の在り方  
ホームページのリニューアル

あえて熱く辛いものを食べることで、その後涼しく感じられます。(Y・Yさん 60代)



私の暑さ対策



Mini Interview P13までつづきます！  
オガワマチのこと・ギカイのこと  
「一緒に見よう、考えよう」



# 一般質問

## DX推進



### 基本的な考え方は

答弁 利便性の向上や効率化のため推進します

Q 当町のDX推進への基本的な考え方は。

A 政策推進課長 町民の利便性向上、行政事務の効率化のため、DX推進を図っているところです。今年度の取組は、紙によらず電子による調査・申請・届出手続きができる仕組みの導入を進めています。Web3.0(ウェブスリー)について、町の計画は。

A 政策推進課長 再整備を進めている道の駅で、Web3.0を活用したデジタル会員登録の導入を検討しています。

Q DXによるEBPMの取組は。



コンビニ交付サービスは身近なDX

## 道の駅



### 和紙での体験活動の充実を

答弁 幅広いメニューの構築に努めます

Q 手漉き和紙体験に加えて、和紙を使つての作品作り体験(ミニ障子・切り絵・絵手紙など)は。

A にぎわい創出課長 町内の魅力的な観光資源にどう誘導するかが、町の活性化には重要であると認識しています。スマートフォンでも確認できるモデルコース作成や道の駅からの電動自転車・電動トゥクトゥクの駐車場所の確保も検討しています。商店会などとも連携し、町全体のにぎわい向上を図りたいと考えています。

Q 団体利用への働きかけと、昼食のあつせんや和紙体験の実施は。



町活性化への期待が膨らむ

## 公共施設



### 管理計画の進捗と今後は

答弁 削減目標を58%に再設定しました

Q 当初の計画は30年間で町の施設等を40%削減するとあったが。

A 政策推進課長 平成27年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、人口減少や財政負担等を踏まえ、30年間で施設総量を40%削減するとしていました。個別施設計画や小中学校再編を踏まえても、公共施設の維持管理に年間2億9000万円の財源不足が生じる見込みです。そこで、削減目標を58%に再設定しました。

Q 再編等で空いた施設・跡地についての考えは。

A 政策推進課長 施設の状況により民間譲渡や除却を含め利活用について検討します。検討に当たっては、公共施設の全体の在り方や、地域住民の意向を踏まえ進めます。



「リリック大ホール」解体後の早期活用を

## 带状疱疹



### ワクチン接種への助成を

答弁 可能性を研究していきます

Q 予防にはワクチン接種が有効であるとされているが、費用の高さなどから接種を諦める人も少なくない。当町でも、比企医師会から助成に関する要望書(令和4年10月)が提出されているが、考えは。

A 健康福祉課長 現在、任意接種である带状疱疹ワクチンに対する助成制度はありませんが、県内では助成を開始した自治体が増加傾向にあります。国の動向や近隣自治体の情報把握に努め、事業化の可能性を研究していきます。

Q 深谷寄居医師会の試算では、罹患した際の平均医療費と国保の保険者負担を考慮すると、早急に実施したほうが最終的に財政の節約につながると考えるが。

A 健康福祉課長 あくまでも国



带状疱疹発症リスクに負けない健康づくり

小川町議会だよりは

写真にコダワル!

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

水分に加えて、毎日朝食で梅干しを食べます。  
(G・Mさん 60代)

ぬれたタオルを室内に干し、エアコンの効果を高めています。  
(M・Cさん 70代)

エアコンのフィルター掃除。同じ設定でも風量が増え、節電にもなって、一石二鳥。  
(I・Hさん 62歳)

打ち水と風鈴です。夕方に打ち水をして、風鈴の音色は、心まで癒してくれますね。  
(Y・Sさん 65歳)





## UECHUの現状と今後は

**答弁** 入居事業者等との交流で活性化につなげます

**Q** オープンから1年、UECHU（ウエチユウ）の現状と今後は。

**A** 政策推進課長 サテライトオフィスと固定ブースは全て入居し、コワーキングエリアはまだ空きがあります。レンタルキッチンには会員が28組となり、日替わりでカフェや子育てサロン等として活用され、地域の方も利用しています。今後は、入居事業者と地域住民との交流事業や、地域おこし協力隊による活動を通して人の流れをつくり、町の活性化につなげます。

**子どもたちの居場所づくり**  
今後の展開は。  
**A** 子育て支援課長 子ども食堂や学習支援の場などについて、拡大強化を図っていきます。また、児童の居場所として、どのようなニーズがあるか検証していきます。  
●その他の質問  
高齢者の移送サービス

**Q** UECHUを使って住民同士が交流できる可能性は。  
**A** 政策推進課長 カフェやレンタルキッチンの利用、地域活動での共用スペースや未活用教室の活用を進めていきます。



いよいよ高齢者施設が着工する旧校庭



## 町の考えと今後の取組は

**答弁** 持続可能なまちづくりを継続していきます

**Q** この発表に対して、町民への発信の中で、町の考え方と対応策を伝える事が大切だと考えるが。

**A** 政策推進課長 10年前のレポートと比べて「改善」との分析もありました。将来推計の結果の一つとして捉えるとともに、これまで行ってきた持続可能なまちづくりを継続していきます。

**Q** この地に暮らす人が、幸せに暮らせる場所づくりを考え、近隣自治体と連携して、人口減に対するまちづくりをするべきでは。  
**A** 政策推進課長 それぞれの自治体を持つ特色を生かせるように連携していきます。また、効果的な情報発信に努めます。

**Q** 町の取組を発信し、人口流出の抑制や移住者増へつなげては。その一つとして「ゼロカーボンシ



ゼロカーボンにつながる家庭用EV充電設備



## 越水に至った原因は

**答弁** 川に急激な曲線がある等と認識しています

**Q** 令和元年10月12日から13日の東日本縦断の台風19号から4年7か月が経過した。町内の越水箇所はいくつあったか。

**A** 防災地域支援課長ほか 越水は槻川で15か所、兜川と市野川において各1か所を把握しています。

**Q** 土砂の堆積で、川底が上がってしまふなどの要因が考えられるが、主な越水の要因は。  
**A** 建設課長 川に急激な曲線があることや、山林の荒廃による土砂や倒木の流出等が要因と認識しています。

**Q** 補修工事はどこまで行われたのか。  
**A** 建設課長 護岸の補修工事など槻川で19件・兜川で6件・市野川で2件・新川で1件等となっています。



激甚化する水害への備えを



## 跡地利用のスケジュールは

**答弁** 今後の進め方等を関係課で協議しています

**Q** 小中学校再編後の跡地利用のスケジュールは。  
**A** 政策推進課長 現在、施設における課題や今後の進め方等を関係課にて協議しています。

**Q** 当該地域に住む町民の声はどの程度届くのか。  
**A** 政策推進課長 長きにわたって地域の皆さんに親しまれ、地域に根差した施設ですので、意見を聞きながら検討を行っています。

**Q** 竹沢小学校施設活用について、文化財の保管及び展示場開設の要望について考えは。  
**A** 生涯学習課長 現在、文化財は5か所で保管している中で、1か所にまとめることは理想と考えます。また、文化財の公開・活用の場の創設は、後世に残していくためにも重要であると捉えています。



文化財を後世に伝える施設に（竹沢小）

## メガソーラーの開発

**Q** 今後のメガソーラーの開発について町長の決意を。  
**A** 町長 町の宝は豊かな自然であると考えています。それを著しく破壊する開発行為や地元住民の同意を得られない開発は、賛成できません。また、この地域の町有地の貸出や払い下げはしません。

首掛け扇風機を使用しています。涼しいし両手が使えて便利です。（M・Kさん 48歳）

夏休み中は「じいじばあば保育園」で1日中プール遊び。（T・Tくん 8歳）

甘酒としそジュースを作り、毎日飲んで、質のよい睡眠と朝食をしっかり食べています。（I・Mさん 60代）

毎朝午前2時～3時、真夏でも涼風に深呼吸をして2万5000歩以上歩くと最高の気分。（T・Kさん 90歳）



小川町議会だよりは

キャプション（写真説明）に「ダブル！」

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。



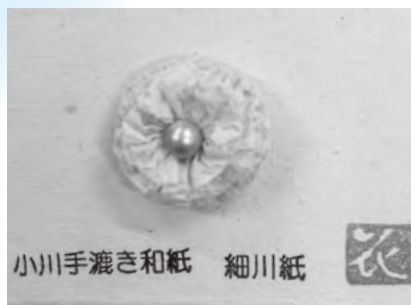
議員倶楽部から

## 細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年」 小川和紙のさらなるPRに一步!

### 小川和紙製 議員バッジ

子供議会時に「子供議員バッジ」の制作を依頼した和紙作家・中島知子さんに相談し、小川和紙製の「議員バッジ」を新調。そのでき栄えの高さに一同感涙。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を世界に発信していく。



2つのバッジをつけ議場へ

### 第76回小川七夕まつり 議会の竹飾り



和気あいあいとくす玉用の花作りに取り組む議員

ひと月以上も前から準備を進め、2年振りに「議会の竹飾り」を立てた第76回小川七夕まつり。和紙産業の振興と町民の幸せを願って結った短冊の数々。

これからも議会は「和紙のふるさと小川町」を盛り上げていく。

### 議員は学び続け、議会は討議し結論を出す 議長 高橋 功人

コロナ禍を乗り越えた3常任委員会は、町の現状と課題を把握するためスピード感を持って学びを進めている。

町民の声を聴く場「地区懇談会」を設けることについては、来年早々に方向性を出す。第2の課題は「議員定数の見直し」である。議会として、責任を果たす「定数」を根本から見直したい。

また、議員間討議を続ける過程で、埼玉県町村議長会へ「①環状1号線の早期開通と延伸 ②学校給食費の無償化に向け国へ要望」の2つの要望事項を提出した。



議会運営委員会から

## 議会主催の(仮称)「地区懇談会」 令和7年1月の プレ開催に向けて一步!

去る4月24日に、議長が議会運営委員会に対し、(仮)地区懇談会の開催に係る「諮問」をした。

「答申」に向けて即応した議運は、早速、調査研究をスタート。令和7年度以降の本格実施を目指し、令和7年1月のプレ開催に向けて取組を加速する。「続報」に乞うご期待!



より開かれた議会に向けて

#### 諮問内容

- ① 地区懇談会の目的
- ② 実施計画
- ③ 住民への事前調査
- ④ 会場・実施回数・規模
- ⑤ 運営方法
- ⑥ 実施後の取組

厚生文教常任委員会から

## 町社会福祉協議会との「勉強会」 地域包括ケアシステム 構築に向けて一步!

去る5月23日に、厚生文教常任委員会が企画した町社協との勉強会に15議員が参加し、取組の現況を確認・共有した。特に町から受託している「地域包括支援センター」の業務は、高齢者本人や家族等からの相談を一手に引き受ける相談窓口として重要な役割を担っている。高齢化率4割超となった当町の地域包括ケアシステム構築の要である町社協の取組に「星3つ!!」



熱く語る社協の岸田局長

令和5年9月定例会号(No.109)から始まったこのシリーズも4回目を迎えた。意見交換会の合間に先進地や地元公共施設の視察、各種勉強会の開催などを通じて見識を深めてきた。「議会の改革・活性化」の実を上げるべく、これからも全力で取り組んでいく。

進み続ける議会

新シリーズ  
16の一步!!



## Back to おがわぎかい No.111

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

紙面から得る  
情報は多い

野村勇一さん  
(下里二)

NOMURA Yuichi



—前号 (No.111) を  
読んだ率直な感想を

表紙をめくると、迫力  
を感じる議員の皆さんの  
顔が飛び込んできた！ それぞれに「道の  
駅リニューアル」に  
対する考え方があり、  
興味が湧きました。また、

紙面の随所に登場する住民の姿。この取材  
もそうですが、編集委員の努力と苦労が伝わっ  
てきます。

—ズバリ、議会・議会だよりに物申す?!

正直、町のことに詳しくないので、紙面から得  
られる情報は多いと感じました。今回は担当の  
熱意に負けて、恥ずかしながら「議会だよりデ  
ビュー」をしてしまいました  
(笑)。議会の「活性化」も進  
みつつあるようです。期待して  
見守りたい!

野村さんイチオシの記事は  
P.19「新シリーズ 16人の  
一歩」



Gikai's comment

今後も、議会の改革・活性化に向けた取組を  
詳報していきます。「住民の皆さんと共に歩む  
議会」にご期待ください。

わたしの声

町民の声「聴きます×つながります」

## だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

山紫水明が  
魅力的な小川町

千野和美さん  
(中高谷)

CHINO Kazumi



私は、小川町に  
生まれ育って  
67年になります。  
学生の頃は、都内の  
学生寮に住んで、都  
会生活を満喫してい  
ました。

卒業後、間もな  
くして小川町

に戻ったとき、なんだかほっとする「故郷・  
小川町」の良さを強く感じました。都内に住  
む知人友人が我が家に来たとき、山や川、  
田畑の自然風景を眺めて「素晴らしいねー」  
と褒めてくれます。

慣れた風景が実はとても素晴らしいも  
のなんだと再認識させられます。また、  
ここ数年小川町七夕まつりの飾りづくり携  
わらせていただくことがあり、和紙や七夕ま  
つりが小川町の人々にとって大切な宝物と  
なっていることも実感しました。

山紫水明の自然環境や伝統文化を大切  
に守っている、そんな小川町を私は誇  
りに思います。

次の定例会は 9月3日(火)～ 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。  
詳しくは小川町ホームページへ

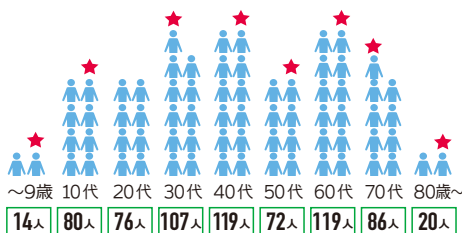


議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

693人

※No.80以降の  
合計人数



●今号の表紙●

元気にスクスク育ってね(ママより)  
都内から移住して早4年目。「小川町生まれ」の愛息は1歳半でヤンチャ盛りだそう。  
指差す先には明るい未来が待ってるぜ!

編集後記 議会広報発行特別委員になって、まもなく1年が経  
とうとしています。見る聞く書く全て初体験の中で、表面平静を装い  
つつ、実は背中に冷や汗をかきながら会議に参加しております(最  
近少し慣れました)。多くの方に読んでいただける議会報を作るた  
めに、これからは脳みそに汗をかきながら頑張ります。(関根)

発行責任者：小川町議会議長 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています